

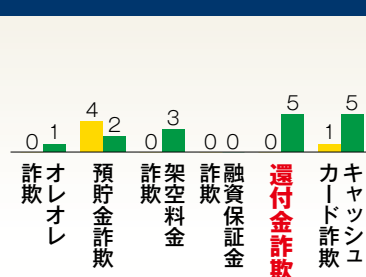
ATMでお金は絶対戻ってきません!

区役所や年金事務所等の公的機関の職員を名乗り、主に65歳以上の方へ「医療費の還付金を返金します」「銀行・コンビニ等のATMに行って、今から言う番号に電話してください」などとだまし、金融機関等でATMを操作させて、被害者が気付かないまま犯人側の口座に現金を振り込ませる「還付金詐欺」が鶴見区でも多発しています。

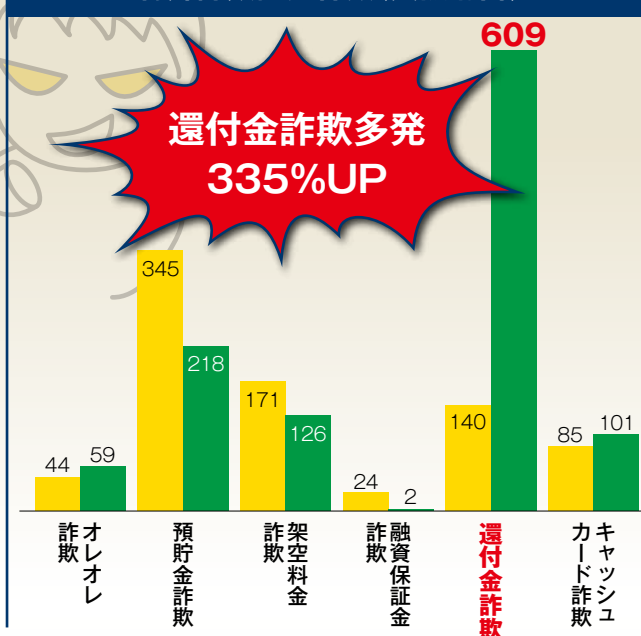
ATMを操作して、あなたの口座に現金が振り込まれることは絶対にありませんのでご注意ください。



特殊詐欺発生状況(鶴見区)



特殊詐欺認知件数(大阪府内)



還付金詐欺多発
335%UP

■ 令和2年9月末 ■ 令和3年9月末

「還付金詐欺」の被害にあわないために

「お金を返します」と言われても、一度は電話を切り、親族や公的窓口で電話をかけて事実を確認し、必ず身近な人や警察に相談してください。

電話機を留守番設定にする、知らない番号や非通知番号には出ない、録音機能付き電話機に交換するなど対策を行い、被害を未然に防ぎましょう。

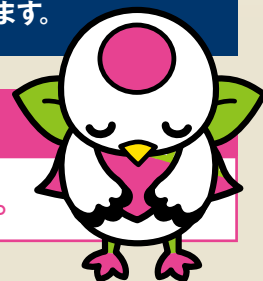
詐欺かもしれない チェックポイント

- 1 区役所、社会保険庁、社会保険事務所の職員を名乗ります。
- 2 「03番号」や「0120番号」に折り返し電話するよう指示します。
- 3 ATMで医療費や税金等の還付金を受け取るように指示します。
- 4 閉庁日でも区職員を名乗って電話をかけてきます。

区民の皆さんへつるりっぷからのお願い

電話しながらATM操作をしている方を見かけたら、少しでも勇気を出して声かけをお願いします。

問合せ 市民協働課 1階⑧番 ☎6915-9846



鶴見区防災計画を更新しました

鶴見区役所では、災害発生に備えて「鶴見区防災計画」を策定しています。「鶴見区防災計画」は、災害発生時の区役所と区民(地域)の責務や役割について記載しています。災害応急対策活動をそれぞれが役割に応じて自発的に活動できるような内容となっています。



11 住み続けられるまちづくりを

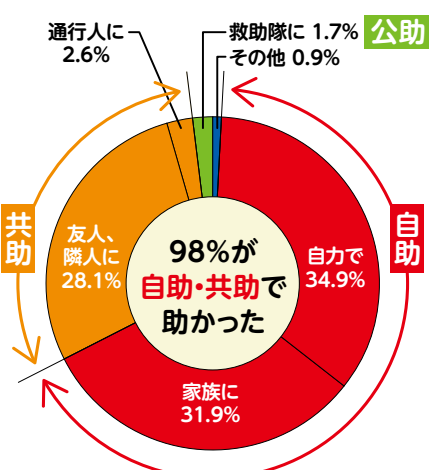


あなたの持っている力を地域防災に活かそう

阪神・淡路大震災で生き埋めになった人たちが誰に救出されたのかご存じですか?

阪神・淡路大震災では、生き埋めになり救助された人の98%が自助と共助で助けられました。

一方、公的機関によって生存したまま救出された人はわずか1.7%という記録が残っています。



(社)日本火災学会:「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」より

町内には、いろいろな技術や道具を持った人、まちのことを熟知している人たちがいます。災害時には、そういった技術や道具、知恵などが役に立ちます。

あなたにもきっと何かの力があるはずです。いざという時にできることをご近所で話し合っておきましょう。

また、ジャッキ、バール、フォークリフト、リヤカーや建設機械などを持っている事業所が近所にあれば、災害時に提供してもらえるよう事前に働きかけましょう。



自主防災組織の取組みが大切です

大規模な災害では、火災や道路の寸断などさまざまな被害が広範囲に発生します。被害を軽減するためには、お互いに協力し合うことが必要です。

防災という共通の目的を持って活動する地域の皆さんの集まりを自主防災組織といいます。各地域では、地域防災リーダーを含む自主防災組織が中心となって、平常時には防災訓練等に取り組み、災害時には初期消火、救出、救護、避難誘導、避難所開設運営などの取組みを行います。



災害被害を軽減するには、普段からの連携が重要です。

- 自助** 自分(家族)の命を自分(家族)で守ること
- 共助** 地域の皆さんで互いに助け合うこと
- 公助** 国や市の行政機関が対策を行うこと

問合せ 市民協働課 1階⑧番 ☎6915-9846